

## — 役員会報告 —

### 《平成16年度日本気象学会北海道支部役員会報告》

#### 1 平成16年度第1回理事会

(「細氷50号」99頁で報告済)

#### 2 平成16年度第2回理事会

(1) 日 時：平成16年9月28日（火） 14時00分～17時30分

(2) 場 所：札幌管区気象台 防災連絡室

(3) 出席者：松尾・横田・藤吉・山崎・松岡・清水・遊馬・若原・藤原  
網蔵・川島・田村

##### (4) 議 事

###### ア 平成16年度第1回理事会報告

第1回理事会要旨について事務局から報告があり了、承された。

###### イ 平成16年度支部事業報告（中間報告）

平成16年度の支部事業の実施状況について事務局から報告があり、了承された。

###### （ア）平成16年度北海道支部総会

6月9日（水）北大百年記念会館大会議室において開催された北海道支部総会について報告された。

###### （イ）平成16年度第1回研究発表会

6月9日（水）北大百年記念会館大会議室において開催された研究発表会（発表題数は8題、出席者41名）について報告された。

第2回研究発表会は12月15日（水）札幌管区気象台で開催することとした。

###### （ウ）第22回夏季大学講座（新しい気象）

7月26日（月）、27日（火）に札幌市青少年科学館（受講者25名）、札幌管区気象台（受講者24名）で開催された旨の報告がされた。（合計受講者26名）

###### （エ）平成16年度北海道支部「気象講演会」

日時、場所、講演者および講演題目等について事務局から報告された。

また、後援機関、ポスター・チラシ案、広報活動（依頼済み、今後依頼）、が報告された。

###### （オ）支部機関誌「細氷50号」の刊行

9月22日に業者に発注、10月7日納入予定であることが報告された。

###### （カ）中間決算報告

現在までの中間決算が報告された。

###### （キ）北海道支部ホームページの立上げと今後の運用について

###### （ク）支部理事会の開催

第3回支部理事会について、平成17年3月上旬に北大で開催することとした。

#### （5）その他

###### ア 平成17年度科学研究費補助金公募について

来年の気象講演会を稚内市で開催することとし、公募することとした。

#### 3 平成16年度第3回理事会

(1) 日 時：平成17年2月28日（月） 14時00分～16時10分

(2) 場 所：北海道大学 エンレイソウ 第2会議室

(3) 出席者：松尾・藤吉・山崎・松岡・清水・遊馬・若原・網蔵・中田  
川島・藤原・田村

(4) 議事

- ア 平成16年度第2回理事会報告（議事録）  
第2回理事会要旨について事務局から報告され了承された。
- イ 平成16年度支部事業報告  
平成16年度の支部事業の実施状況について事務局から報告され了承された。  
気象講演会終了後、講師及び後援機関に対し文書による礼状を送付した旨説明があつた。
- ウ 平成16年度支部予算收支中間報告（2月25日）  
支部予算收支中間報告について事務局から報告があり、了承された。  
各事項のうち、細氷刊行経費が50号特集記事でページが増えたため予算額を約5万円オーバーしたがその他については、予算額を下回っていることの補足説明があつた。
- エ 平成17年度支部事業計画（案）  
平成17年度支部事業計画（案）が事務局から提案され検討を行なった。
- （ア）支部総会総会  
支部総会は第1案平成17年6月10日（金）、第2案6月9日（木）とし、会場を予約することとした。また、理事会は1週間前の6月3日（金）に開催することとした。
- （イ）支部研究発表会  
1回目は支部総会に引き続き実施することとした13時から北大百年記念会館で開催することとした。  
2回目は気象台の気象研究会に引き続き実施することとした。日程は11月20日から23日まで気象学会全国大会があるため、終了後に開催することとし、12月上旬後半で計画することとした。
- （ウ）夏季大学講座  
2日目は例年どおり札幌管区気象台で開催することとした。
- （エ）気象講演会  
稚内地方気象台の防災気象講演会と共に開催することで調整とれしており、会場は稚内市民文化センターを予約したことが報告された。  
講師のうち、風力エネルギー研究者については、身近なところで適任者がいないか探すこととした。  
今後は、隔年開催も視野に入れて検討して行くこととした。
- （オ）特別気象講演会  
開催する場合、10日位前まで各理事にはかり、1週間前には支部ホームページで周知することとした。
- （カ）支部機関誌「細氷」の刊行  
17年度も刊行することとした。
- （キ）ホームページの活用  
メーリングリストによる会員への周知のため、支部会員メーリングリスト、支部役員のメーリングリストを作成することとした。会員のメールアドレスは、事務局で新年度に入ってから会員種別登録等の確認と併せ、照会することとした。
- （ク）支部ホームページ  
担当幹事から、12月1日に運用を開始してから2月23日までの書き込み更新内容、アクセス数及びコンテンツ別のヒット数ランキングについて報告された。
- （ケ）事務局提案事項  
会員種別登録制度に伴う郵送による周知等の見直し及び支部機関誌「細氷」発送作業のアルバイト委託について提案があり、了承された。  
これに関連し、新年度に入ってから、支部会員に会員種別登録、ホームページ利用環境、郵送による案内希望の有無及びメーリングリスト登録希望会員にメールアド

レスを照会することとした。手段はメールアドレスを考慮し封書で行なうこととした。アルバイト代は、作業1名で3時間程度、交通費を含め4,000円とすることとした。

オ その他

- (ア) 10月異動の気象台幹事の後任が報告された。
- (イ) 12月13日開催の本部常任理事会において本部交付金が定額分12万円を20万円に、人頭割一人あたり800円を1,200円に増額することが了承され、3月の理事会で確定されることが報告された。また、山崎理事から、秋季大会交付金については200万円を250万円に増額する一方、更なる増額は特殊事情がある場合に限られることが補足説明された。
- (ウ) 2月25日現在の支部会員種別登録状況は、本部から取り寄せた資料によると通常会員60名、特別会員157名であることが報告された。
- (エ) 新規会員勧誘に努力することとした。

4 平成16年度臨時理事会

- (1) 日 時：平成17年3月 9日（水） 15時00分～17時00分
- (2) 場 所：札幌管区気象台 予備室
- (3) 出席者：松尾・藤吉・山崎・松岡・清水・遊馬・若原・中田・藤原・田村

(4) 議事

ア 支部役員の推薦について

気象台役員5名全員が転出することが内定したことから、転出者の後任について検討した。支部役員選挙規則第5条、理事及び会計監査に欠員を生じた場合は、理事会の推薦によって補充する。を適用して、後任内定者が理事会推薦で了承された。気象台の後任幹事1名未定については、気象台にまかせていただくことで了承された。

支部長代行について、松尾支部長から山崎常任理事が指名され、了承された。

4月から第1回理事会まで代行することとした。役割分担は新年度理事会で決めることとした。

イ 気象講演会について

支部気象講演会は、隔年開催や、地元で開催、気象台防災気象講演会へ講師派遣（共催とする）など、工夫してお金のかからない方法を考えていくこととした。

## 《平成17年度日本気象学会北海道支部役員会報告》

### 1 平成17年度第1回理事会

- (1) 日 時：平成17年5月27日（金）15時00分～17時20分  
(2) 場 所：札幌管区気象台 防災連絡室  
(3) 出席者：濱田・山崎・藤吉・中井・松岡・伊藤・遊馬・若原・川島  
藤原・中田・人見・原  
(4) 議事  
ア 常任理事・支部長の選出及び幹事の指名  
人事異動により転出した常任理事、理事、幹事に後任者が指名された。  
空席だった幹事に原幹事が指名された。支部長に濱田信生、常任理事に中井公太、理  
事に伊藤道男が就任した。幹事に原 朋憲、人見 豊が指名された。

イ 新支部長あいさつ（省略）

ウ 役員の業務分担について

第24期後期支部役員の業務分担を次のように決定した。

総 括：支部長 濱田信生（気象台）  
研究発表会：理 事 遊馬芳雄（北大）  
企 画：理 事 中井公太（気象台）  
講 演：理 事 山崎孝治（北大）  
理 事 中井公太（気象台）  
幹 事 網藏 真（気象協会）  
細氷編集：理 事 伊藤道男（気象台）  
幹 事 藤原正智（北大）  
夏季大学：理 事 藤吉康志（北大）  
幹 事 中田琢志（気象協会）  
電子情報関連：理 事 松岡直基（気象協会）  
事務局：幹 事 人見 豊（気象台） 原 朋憲（気象台）

講演担当者について、稚内における気象講演開催にあたり、稚内地方気象台との調整  
のため気象台の役員も加えた方がよい旨提案があり、中井常任理事が講演担当に加わ  
ることになった。

エ 平成16年度第3回理事会報告（議事録）

第3回理事会要旨について事務局から報告があり、了承された。

オ 平成16年度臨時理事会報告（議事録）

臨時理事会要旨について事務局から報告があり、了承された。

カ 平成16年度支部事業報告

平成16年度の支部事業の実施状況について事務局から報告があり了承された。

キ 平成16年度支部予算収支決算報告（3月31日現在）

支部予算収支決算について事務局から報告があり、了承された。

各事項のうち、細氷刊行経費が50号特集記事でページが増えたため予算額を約5万  
円オーバーしたが、その他は、予算額を下回っている個との補足説明があった。

ク 平成16年度支部会計監査報告

平成16年度の支部会計監査について会計監査から、公正妥当に執行されている旨の  
報告がされ、了承された。

ケ 平成17年度支部事業計画（案）

平成17年度支部事業計画（案）が事務局から提案され了承された。

（ア）支部総会

支部総会は6月3日（金）13時から北大百年記念会館で開催することとした。

(イ) 支部研究会

第1回支部研究会は総会に引き続き実施することとした。

第2回目は気象台の気象研究会に引き続き実施することとした。日程は11月20日から23日まで気象学会全国大会があるため、終了後に開催することとし、12月上旬後半で計画することとした。

(ウ) 夏季大学

夏季大学講座「新しい気象」について、1日目は札幌市青少年科学館、2日目は例年どおり札幌管区気象台で開催することとした。講演は北大から海洋の三寺氏と微生物・土壤循環の福井氏の2名にお願いしてある。気象協会からは賀久氏、気象台から濱田台長が講演。(施設見学含む)。

(エ) 気象講演会

10月8日(土)に稚内地方気象台防災講演会と共に開催、場所は稚内市文化センター。講師のうち、風力エネルギー研究者については、適任者がいないことから探すこととした。国立環境研究所の海洋風資源の研究者から探してみる事が提案された。事前準備や当日の補助は稚内地方気象台からも行なう旨、提案された。講演の予稿集は支部機関誌「細水」に掲載するため、8月末締切りとなる。7月には講演者を決めなければならないことを確認した。

今後は、隔年開催も視野に入れて検討していくこととした。

(オ) 特別気象講演会

理事会の時点で予定はない旨報告された。開催する場合は、10日位前に各理事にはかり、1週間前には支部ホームページで周知することとした。

(カ) 支部機関誌「細水」の刊行

解説については、北大から寄稿者をさがすこととした。また、気象業務紹介も適任者を探すこととした。

(キ) 支部ホームページ運用状況

担当幹事から、平成16年12月1日に運用を開始してから5月24日までの更新内容、アクセス数及びコンテンツ別のヒットランキングについて報告された。

また、ホームページの内容について意見交換を行なった。

コ 平成17年度支部予算(案)

平成17年度支部予算(案)について事務局から提案され、了承された。

事務局から、気象講演会について補足説明があった。

サ その他

(ア) 一般会員と特別会員について

支部総会の出欠および委任状のハガキや支部総会時の名札を一般会員と特別会員で分ける必要があるとの意見があった。名簿で一般会員か特別会員かの区別は可能。

(イ) 平成17年度科学研究費補助金の交付内定について

本年度、科学研究費補助金の交付は受けられなかった旨、事務局から報告があった。

(ウ) 旭川コンベンションビューローについて

平成17年1月26日、旭川コンベンションビューローの事務局長、誘致事業課長が札幌管区気象台を訪れ、平成19年度開催予定の秋季全国大会の旭川誘致の陳情説明があった旨、事務局から報告があった。(パンフレット添付)

2 平成17年度第1回幹事会

(1) 日 時：平成17年5月20日(金) 15時30分～16時50分

(2) 場 所：札幌管区気象台 防災連絡室

(3) 出席者：川島・藤原・中田・原・人見

(4) 打合せ事項：平成17年度第1回理事会の議事内容の検討